

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
看護倫理	1 単位 (15 時間)	鈴木 真理子 (大学准教授)	3 年前期

**【学習目標】**

- 1) 看護倫理の基礎知識および看護に関わる基本的な法律を学び、これらの知識が看護師になぜ必要かを説明することができる (倫理的に「知ること」を学ぶ)
- 2) 倫理的感受性を高め、倫理的課題を認識することができる (倫理的に「見ること」を学ぶ)
- 3) 倫理的意思決定を行うための枠組みを用いて事例検討を行い、倫理課題に直面したとき専門職としてどう対応すべきかを考えることができる (倫理的に「行うこと」を学ぶ)
- 4) 他者の声に耳を傾け、継続的な対話の姿勢を持つことができる (倫理的に「振り返る」ことを学ぶ)
- 5) よい看護とは何か、よい看護師とはどのような人なのかを自分自身の言葉と行為で表現することができる (倫理的に「あること」を学ぶ)

**【授業の進め方】**

講義、グループワーク

**【授業スケジュール】**

- 1 看護倫理の基礎知識  
倫理の基礎 (価値・法)・看護倫理の歴史・看護師の倫理綱領・看護師の責任
- 2 看護倫理へのアプローチ  
倫理原則・徳の倫理・ケアの倫理  
他職種との協力、協働
- 3 事例分析：認知症高齢者  
(症例検討シートを用いた倫理的問題の分析の演習)
- 4 事例分析 グループワーク
- 5 //
- 6 事例分析 グループワーク、発表
- 7 //
- 8 試験

**【教科書】**

看護倫理 一よい看護・よい看護師への道しるべー 小西恵美子編 南江堂

**【参考書】**

随時紹介

**【評価方法】**

筆記試験 (60%)、リフレクション (20%)、グループワーク参加態度 (20%)

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
フィジカルアセスメントⅡ	1 単位 (30 時間)	有賀 潤 (看護師)	3 年前期

**【学習目標】**

生活環境が異なる対象者全般に対して、個人における健康状態を全人的、倫理的配慮をもって、多角的にアセスメントできるために、系統立てたヘルスアセスメントの知識、技術、姿勢を学習し習得できる

**【授業の進め方】**

DVDを使用した講義、フィジカルアセスメントモデルを使用した演習

**【授業スケジュール】**

- 1 フィジカルアセスメントとは
- 2                    "
- 3 呼吸器系のフィジカルアセスメント
- 4                    "
- 5 循環器系のフィジカルアセスメント
- 6                    "
- 7 消化器系のフィジカルアセスメント
- 8                    "
- 9 感覚器系のフィジカルアセスメント
- 10                   "
- 11 中枢神経系のフィジカルアセスメント
- 12                   "
- 13 運動器系のフィジカルアセスメント
- 14                   "
- 15 試験

**【教科書】**

看護がみえる3 フィジカルアセスメント    メディックメディア

**【参考書】**

フィジカルアセスメントガイドブック 第2版   山内豊明    医学書院  
呼吸音聴診ガイドブック    山内豊明    医学書院

**【評価方法】**

筆記、実技試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
看護研究の基礎	1 単位 (15 時間)	坂口 けさみ (大学教授)	3 年前期

**【学習目標】**

看護研究を迫行するために必要な基礎的知識と技術を修得する。

- ① 看護における研究の意義を説明できる。
- ② 研究の種類と研究デザインおよび研究プロセスを説明できる。
- ③ 文献検索ができる。
- ④ 研究における倫理的配慮が説明できる。
- ⑤ 基礎的な統計処理方法が理解できる。
- ⑥ 研究論文の書き方が理解できる。
- ⑦ プレゼンテーションの基本が理解できる。

**【授業の進め方】**

座学を中心に行う

**【授業スケジュール】**

- 1 研究を進めるためのプロセスと文献検索
- 2 研究デザイン
- 3 量的研究の進め方
- 4 質的研究の進め方
- 5 研究計画書の書き方および研究と倫理
- 6 統計と検定の基礎
- 7 論文の書き方・プレゼンテーションの基本
- 8 試験

**【教科書】**

なし

**【参考書】**

横山美江編：よくわかる看護研究の進め方，医歯薬出版株式会社，2005.

横山美江，他編：質的研究の進め方、まとめ方，医歯薬出版株式会社，2005.

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
事例研究	1 単位 (30 時間)	町田 久美 (臨床経験 5 年)	3 年全期

**【学習目標】**

看護における疑問や課題を明らかにし、研究の基礎的知識を基に結果を考察して、論理的に文章にまとめ、発表することができる。

**【授業の進め方】**

- 1.2 講義
- 3 研究計画書作成
- 4 研究計画書発表会
- 5 講義
- 6～8 研究計画書・論文作成、指導（指導担当教員）
- 9 研究発表会準備
- 10～14 研究発表会
- 15 まとめ

**【授業スケジュール】**

- 1 研究スケジュール、研究計画書の作成方法
- 2 研究の倫理・文献検索
- 3 研究計画書・文献クリティーク
- 4 研究計画書発表（グループ討議）
- 5 研究論文の書き方、プレゼンテーション
- 6 研究論文作成（論文指導を受けながら、個人ワーク）
- 7 //
- 8 //
- 9 研究発表会会場準備 発表リハーサル
- 10～14 研究発表会 発表・運営
- 15 まとめ

**【教科書】**

松本孚：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社

**【参考書】**

黒田裕子：黒田裕子の看護研究 Step by Step 医学書院 2012

山川みやえ、牧本清子：よくわかる看護研究論文のクリティーク 看護協会出版会 2014

**【評価方法】**

出席状況 論文内容 研究への取り組み態度及び発表態度から総合的に判断する

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
地域・在宅援助論 I	1 単位 (30 時間)	竹前 敦子 (病院看護師) 六川 早百合 (病院看護師) 黒鳥 美幸 (病院看護師) 古川 賢一 (医師) 宮本 大介 (理学療法士) 宮崎 邦晃 (薬剤師)	3 年後期

**【学習目標】**

在宅療養者の状態・状況に応じた看護について理解する。さらに、在宅看護における援助技術の特徴や工夫を知り、訪問看護師における基本的な看護技術を身に付ける

在宅療養における多職種の役割と機能を理解する

**【授業の進め方】**

講義、演習

**【授業スケジュール】**

- 1 対象者の状態・状況に応じた看護支援① (褥瘡発生時の看護)
- 2 対象者の状態・状況に応じた看護支援② (難病疾患：パーキンソン病)
- 3 対象者の状態・状況に応じた看護支援③ (脳血管疾患：脳梗塞)
- 4 対象者の状態・状況に応じた看護支援④ (高齢者・終末期)
- 5 対象者の状態・状況に応じた看護支援⑤ (がん終末期)
- 6 在宅における看護技術① (コミュニケーション技術)
- 7 在宅における看護技術② (療養環境・感染予防)
- 8 在宅における看護技術③ (日常生活を支える看護技術 食生活・排泄)
- 9 在宅における看護技術④ (日常生活を支える看護技術 清潔)
- 10 在宅における看護技術⑤ (療養を支える医療ケア)
- 11 在宅における看護技術⑥ (ターミナルケア)
- 12 訪問リハビリテーションの実際
- 13 訪問薬剤の実際
- 14 訪問診療の実際
- 15 試験

**【教科書】**

ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版

**【参考書】**

配布資料

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
地域・在宅援助論Ⅱ	1 単位 (15 時間)	宮本 千絵 (臨床経験 12 年)	3 年後期

**【学習目標】**

訪問看護活動における基礎的知識を学ぶと共に、対象者が住み慣れた地域や家庭でその人らしく療養生活を送れるように看護師等が生活の場へ訪問し支援する実際とその意味を理解する

**【授業の進め方】**

講義、個人ワーク、発表

**【授業スケジュール】**

- 1 在宅療養を支える看護（訪問看護）
- 2 訪問看護の特徴と看護過程・訪問看護ステーションの機能と役割
- 3 訪問看護ステーションの設立
- 4                    "
- 5                    "
- 6                    "
- 7                    "
- 8 発表

**【教科書】**

ナーシンググラフィカ 在宅看護論① ー地域療養を支えるケアー メディカ出版  
 ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障[2] ー公衆衛生ー メディカ出版  
 系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度[3] ー社会保障・社会福祉ー  
 医学書院

**【参考書】**

適宜、提示・紹介する

**【評価方法】**

課題（60%）、レポート（30%）、授業態度（10%）

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	小林 亮 (病院看護師) 樋口 尚宏 (病院看護師) 青木 佐知子 (臨床経験 20 年) 和田 光子 (臨床経験 12 年)	3 年後期

**【学習目標】**

内分泌・代謝疾患、循環器疾患、女性生殖器疾患の特性と個人の生活に与える影響などを踏まえ、これらの疾患と共にある人々への看護について学ぶ

**【授業の進め方】**

講義、グループワーク、演習

**【授業スケジュール】**

- 1 内分泌・代謝疾患をもつ患者の特徴と看護の役割
- 2 糖尿病患者の特徴と看護 (症状に対する看護)
- 3 食事・運動・薬物療法と看護
- 4 合併症と看護
- 5 演習 血糖測定
- 6 演習 フットケア、フットアセスメントとケア方法
- 7 内分泌疾患をもつ患者の看護 (甲状腺疾患)
- 8 循環器疾患をもつ患者の特徴と看護の役割
- 9 虚血性心疾患患者の看護
- 10 心不全患者の看護
- 11 不整脈患者の看護
- 12 心臓リハビリテーションの実際
- 13 女性生殖器疾患をもつ患者の特徴と看護の役割 (子宮頸がん、子宮体がん)
- 14 乳房疾患患者の看護 (乳がん)
- 15 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[3] 循環器 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9] 女性生殖器 医学書院

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人援助論Ⅲ	1 単位 (20 時間)	町田 千晴 (認定看護師) 松岡 知子 (病院看護師)	3 年後期

**【学習目標】**

呼吸器疾患、腎疾患の特性と個人の生活に与える影響などをふまえ、これらの疾患とともにある人々への看護について学ぶ

**【授業の進め方】**

講義、グループワーク、演習  
血液透析室見学

**【授業スケジュール】**

- 1 症状に対する看護
  - 1) 咳嗽、喀痰のある患者の看護
  - 2) 呼吸困難のある患者の看護
- 2 治療、処置を受ける患者の看護
  - 1) 吸入療法
  - 2) 酸素療法
  - 3) 胸腔ドレナージ
- 3 疾患を持つ患者の看護
  - 1) 肺炎患者の看護
  - 2) 肺がん患者の看護
- 4 疾患を持つ患者の看護 (セルフマネジメント支援も含む)
  - 1) 気管支喘息患者の看護
  - 2) 慢性閉塞性肺疾患患者の看護
- 5 演習 排痰を促す援助 (体位ドレナージ)
- 6 血液透析の実際の理解
- 7 腎臓系疾患患者の看護
- 8 慢性腎不全をもつ患者の経過と看護
- 9 グループワーク
- 10 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学

[2] 呼吸器

[8] 腎・泌尿器

医学書院

**【参考書】**

セルフマネジメント 成人看護学3 メディカ出版

**【評価方法】**

筆記試験



科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人援助論Ⅳ	1 単位 (20 時間)	猪瀬 康行 (認定看護師) 山岸 明広 (認定看護師) 北島加奈子 (認定看護師) 山岸 大祐 (認定看護師)	3 年後期

**【学習目標】**

外科的療法による侵襲のメカニズム、周手術期の患者の看護を理解する。また、循環機能障害をもつ成人およびその家族への看護を理解する。

**【授業の進め方】**

講義、グループワーク

**【授業スケジュール】**

- 1 手術患者のリスク (生活習慣、小児、高齢者)
- 2 周術期における呼吸器ケア
- 3 周術期における認知症患者のケア
- 4 手術患者のリスク (心臓、肺)
- 5 手術患者のリスク (脳、腎臓、糖尿病・内分泌)
- 6 術後のバイタルサイン・周術期における検査異常
- 7 術後の疼痛・術後の感染・ドレナージとチューブの管理
- 8 グループワーク
- 9 グループワーク
- 10 試験

**【教科書】**

系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 医学書院

**【参考書】**

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
老年援助論Ⅳ	1 単位 (15 時間)	松沢 士子 (臨床経験 26 年)	3 年前期

**【学習目標】**

高齢者の加齢に伴う生理的変化や健康障害による日常生活への影響を、視覚的な情報から気づき、解釈・分析する力をつける

**【授業の進め方】**

講義、演習、グループワーク

**【授業スケジュール】**

- 1 事例紹介 動画から得た情報をもとに患者プロフィールを作成  
事例のアセスメントに必要な疾患・治療等の学習（個人ワーク）
- 2 入院当日から3日目の様子を視聴・検討（グループワーク）  
（※以降グループワークで進める内容）①動画から気づいたことについて意見交換  
②気づいた事柄から事例について解釈・分析する
- 3 前回の授業のグループワークの内容を各グループから発表  
入院4から5日目の様子を視聴・検討（グループワーク）
- 4 入院6日目の様子、入院7日目の様子を視聴・検討（グループワーク）
- 5 前回の授業のグループワークの内容を各グループから発表
- 6 入院10日目の様子を視聴・検討（グループワーク）
- 7 入院15日目の様子を視聴・検討・発表準備（グループワーク）
- 8 全体を通して今後の方向性や必要な看護など各グループから発表・まとめ

**【教科書】**

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院  
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患編 医学書院

**【評価方法】**

提出課題 グループワークの参加態度

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
小児援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	和田 光子(臨床経験 12 年)	3 年後期

#### 【学習目標】

小児の主要疾患に応じた看護について理解できる。  
事例展開を通して小児看護過程展開について理解できる。

#### 【授業の進め方】

小児に多い主要疾患について病態生理から症状別看護まで、小児臨床看護の経験を活かし、大切にしてほしい小児看護の視点を実体験を交えながら話す。  
事例展開は実在の症例を用いた看護過程の展開をグループ討議を取り入れながら行う。

#### 【授業スケジュール】

##### 主要疾患 看護

- 1 ①先天性心疾患 (ファロー四徴症)
- 2       "       (心室中隔欠損症)
- 3 ②骨疾患 (骨肉腫)
- 4 ③腎疾患 (急性糸球体腎炎)
- 5 ④血液疾患 (急性リンパ性白血病)
- 6 ⑤脳脊髄疾患 髄膜炎・二分脊椎 (脊髄髄膜瘤)

##### 事例をつかった小児看護過程の展開

- 7 観察項目
- 8 事例紹介・情報収集 (観察項目)
- 9 アセスメント
- 10       "
- 11       "
- 12 問題リスト
- 13 看護問題・目標
- 14 看護計画
- 15 試験

#### 【教科書】

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院

#### 【参考書】

発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図 第3版 医学書院

#### 【評価方法】

筆記試験 (50%)、看護過程展開課題 (50%)、授業態度の総合評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
母性援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	川窪 梢 (病院助産師) 見海 友圭里 (病院助産師)	3 年前期

**【学習目標】**

周産期における正常からの逸脱、異常を判断するための基礎知識を理解し、ハイリスク状態にある対象に適した看護を学ぶ

母性看護における看護過程の展開方法を理解する

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- |    |        |   |
|----|--------|---|
| 1  | 妊娠期の異常 | ハイリスク妊娠 (心疾患、子宮筋腫、子宮頸がん)、子宮外妊娠<br>妊娠期の感染症 |
| 2  | 〃      |   |
| 3  | 妊娠期の異常 | ハイリスク妊娠 (切迫流産、切迫早産、多胎妊娠、妊娠性疾患)            |
| 4  | 〃      |   |
| 5  | 分娩期の異常 | 産道・娩出力の異常、分娩障害、胎児の付属物の異常<br>胎児機能不全        |
| 6  | 〃      |   |
| 7  | 分娩期の異常 | 分娩時の異常出血、産科処置と産科手術                        |
| 8  | 〃      |   |
| 9  | 産褥期の異常 | CTG の判読 正常な産褥経過の振り返り                      |
| 10 | 〃      | 身体的な異常                                    |
| 11 | 産褥期の異常 | 精神的な異常                                    |
| 12 | 〃      |   |
| 13 | 産褥期の異常 | 産褥期の看護展開                                  |
| 14 | 〃      |   |
| 15 | 試験     |   |

**【教科書】**

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕 —母性看護学各論— 医学書院

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
母性援助論Ⅲ	1 単位 (15 時間)	上原 美幸 (臨床経験 16 年)	3 年後期

**【学習目標】**

新生児の生理について理解し、正常な新生児やハイリスク新生児の看護を学ぶ

**【授業の進め方】**

講義、演習

**【授業スケジュール】**

- 1 新生児の特徴：生理的機能（呼吸・循環・体温他）
- 2 新生児のアセスメント
- 3 新生児の看護（出生直後～1 か月健診まで）
- 4 新生児と異常と看護
- 5 演習（抱っこ・沐浴・更衣・おむつ交換）
- 6                                 〃
- 7 新生児と異常と看護
- 8 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院

**【参考書】**

新生児学入門

**【評価方法】**

筆記試験、授業態度の総合評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
精神援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	丸田 照美 (認定看護師) 大蔵 真理 (専門看護師) 宮脇 真一郎 (病院看護師)	3 年全期

**【学習目標】**

各精神疾患の知識に基づく症状アセスメントを理解し、生活を整える視点で対象と家族の看護を学ぶ。

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- 1 ここ駒紹介、入院治療の意味
- 2 精神科看護 (統合失調症)
- 3 精神科看護 (うつ病)
- 4 DVD鑑賞「ツレがうつになりまして」
- 5 精神科看護 (アルコール依存症)
- 6 事例検討・グループワーク
- 7        "
- 8 安全を守る、アルコール依存症の看護
- 9 地域看護、パーソナリティ障害
- 10 DVD鑑賞「16歳のカルテ」
- 11 摂食障害・強迫性障害  
      サバイバーとしての看護とそのケア
- 12 ボードゲーム療育
- 13 事例展開：摂食障害
- 14 発表
- 15 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎       医学書院  
系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開       医学書院

**【参考書】**

統合失調症急性期看護学 患者理解の方法と理論にもとづく実践       すびか書房  
実践 精神看護テキスト うつ病看護       精神看護出版

**【評価方法】**

筆記試験、授業態度

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
医療安全	1 単位 (15 時間)	三上 香緒里 (病院医療安全管理者)	3 年後期

**【学習目標】**

患者（家族）が安全に安心して医療を受けていただくためにどうしたらよいか考える  
医療の安全という知識を普段より意識し高めていく。

**【授業の進め方】**

講義、グループワーク

**【授業スケジュール】**

- 1 医療安全とは
- 2 内服与薬・転棟防止について
- 3 駐車業務
- 4 経管栄養による事故について
- 5 患者誤認
- 6 採取・まとめ等
- 7 K Y T
- 8 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 統合分野 [2] 医療安全 医学書院

**【参考書】**

なし

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
感染管理	1 単位 (15 時間)	目黒 美紀 (感染管理認定看護師)	3 年後期

**【学習目標】**

感染性疾患の理解や事例をとおり、看護師に求められる感染症看護の基礎知識を学ぶ  
施設内の感染防止対策の考え方、感染予防策の基本を理解する

**【授業の進め方】**

講義、グループワーク

**【授業スケジュール】**

- 1 感染症とは 医療関連感染と感染対策の必要性、感染症に関する法律
- 2 感染性診断、検査、治療と看護
- 3 看護に必要な感染予防策：標準予防策・感染経路別予防策
- 4 感染症 疾患の理解と看護
- 5 感染予防策の実際（グループワーク）
- 6 感染予知訓練（グループワーク）
- 7 アウトブレイク対応、職業感染対策
- 8 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [2] アレルギー膠原病・感染症

**【参考書】**

**【評価方法】**

筆記試験



科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
診療の補助技術	2 単位 (45 時間)	早川 真実 (臨床経験 13 年)	3 年全期

**【学習目標】**

既習の知識や技術を統合し、臨床で必要な基本的な技術を修得する

**【授業の進め方】**

グループ学習、パフォーマンス発表、技術演習

- 1 パフォーマンス課題に向けグループで計画を立て、主体的に学習を進める
- 2 他者にわかりやすくパフォーマンス課題の発表・指導をおこなう
- 3 演習を通して、それぞれの技術を習得する

**【授業スケジュール】**

- 1 診療の補助技術を学ぶということ  
治療・処置を受ける患者に必要な知識・技術の担当決定  
  - <技術演習項目> ①経鼻胃チューブ挿入(経管栄養法) ②吸引(口腔・鼻腔・気管内)
  - ③酸素療法・ボンベ取り扱い(人工呼吸器) ④点滴静脈内注射
  - ⑤吸入、輸液・シリンジポンプ取り扱い ⑥心電図(12誘導・モニター)
- 2 担当技術の学習①(学習・資料作成)
- 3 //
- 4 担当技術の学習②(シミュレーターを使用した技術・資料作成)
- 5 //
- 6 担当する技術練習と内容確認・修正・追加
- 7 //
- 8 資料印刷・発表準備
- 9 パフォーマンス発表 心電図
- 10 // 酸素療法・ボンベ取り扱い
- 11 // 吸入、輸液ポンプ・シリンジポンプ取り扱い
- 12 // 点滴静脈内注射
- 13 // 口腔・鼻腔・気管内吸引
- 14 // 経鼻胃チューブ挿入
- 15 演習の説明
- 16・17 演習 「経鼻胃管挿入、吸引」
- 18・19 演習 「輸液・シリンジポンプ、心電図、吸入」
- 20・21 演習 「点滴静脈注射」
- 22 反省・まとめ
- 23 筆記試験

**【教科書】**

各看護技術、形態機能学等の学習内容関連書

**【参考書】**

看護学、技術等の参考書

**【評価方法】**

筆記試験(70点)、授業態度評価(30点)